

非小細胞肺癌患者における抗 PD-1/PD-L1 抗体薬増悪後の治療戦略に関する多施設共同後方視的研究

研究の対象となる方

2015 年 12 月～2020 年 3 月に進行/再発非小細胞肺癌と診断され、ニボルマブ（商品名：オプジーボ）、ペムブロリズマブ（商品名：キイトルーダ）、アテゾリズマブ（商品名：テセントリク）で治療を行った患者様

目的・方法

非小細胞肺癌に対する抗 Programmed cell death-1 (PD-1) /Programmed cell death-ligand 1 (PD-L1) 抗体薬は、標準治療です。抗 PD-1/PD-L1 抗体薬は長期奏効する患者様がいる一方、増悪をきたす患者様もおられます。しかしながら、増悪後に対する適切な治療法に関しては、まだ十分解明されていません。本研究は非小細胞肺癌における抗 PD-1/PD-L1 抗体薬の増悪後の治療戦略を後方視的に検証することを目的としています。

研究機関より患者背景、治療効果、増悪時期、増悪病変、予後について熊本大学病院呼吸器内科へ情報を集積し、統計学的解析を用いて、最適な増悪後の治療戦略について検討します。

実施期間

2021 年 5 月 14 日～2023 年 3 月 31 日

研究に使用する情報

年齢、性別、喫煙歴、身体所見、画像所見（X 線、CT、MRI、骨シンチ、PET 検査等）、病理所見、EGFR 遺伝子変異/ALK 融合遺伝子、PD-L1 蛋白発現、治療経過（治療効果、治療レジメン、放射線治療等）、予後等の臨床情報を収集いたします。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の実施体制

代表研究機関と責任者

熊本大学病院 呼吸器内科 教授 坂上 拓郎

共同研究機関と責任者

熊本大学病院 総合臨床研究部 池田 徳典

済生会熊本病院 呼吸器内科 神宮 直樹、坂田 能彦

熊本赤十字病院 呼吸器内科 彌永 和宏、今井 美友

熊本中央病院 呼吸器内科 稲葉 恵、田嶋 祐香

熊本地域医療センター 呼吸器内科 柏原 光介

熊本市市民病院 呼吸器内科 岸 裕人

熊本労災病院 呼吸器内科 丸山 広高

熊本再春医療センター 呼吸器内科 浦本 秀志、宮崎 蒼

水俣市立総合医療センター 呼吸器内科 榮田 浩文、玉野井 大輔

くまもと北部病院 呼吸器内科 福嶋 一晃
人吉医療センター 呼吸器内科 垣内 洋佑
大牟田天領病院 呼吸器内科 廣佐古 進
宮崎県立延岡病院 呼吸器内科 味志 裕介、天神 祐紀
宮崎東病院 呼吸器内科 森山 英士

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 呼吸器内科 主任医員 神宮直樹（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上